

カトリック山手教会月報

やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

第609号 2020年11月8日

鈴木真師主日ミサ説教

9月13日・年間第24主日：マタイ18・21-35



「七の七十倍までも赦しなさい」…。

「七」は聖書では完全さを表す数ですから、ペトロさんも「『七』を出せば大丈夫だろう」と思ったのでしょうが、イエスの答えは「その七十倍」でした。『聖書と典礼』の注書きもあるように、これは要するに「限りなく」ということです。なぜならば、とイエスは言われます。わたしたちは、神さまにあり得ないほどの負債をチャラにしてもらっているのだから、と。たとえに「タラント」が出てきますが、これはギリシャの貨幣単位で、とんでもない規模のものです。「タレント」の語源にもなったと言われています。福音書によく「デナリオン」という銀貨が登場しますが、こっちはローマの貨幣単位で、労働者の一日分の給料だそうです。「タラント」はその6000倍、つまり6000日分の給料、ということになります。ちょっと簡単には今の円に換算することはできないと思いますが、簡単に考えられるように1デナリオン=10000円とするなら、ここで出てくる「一万タラント」はなんと6千億円、もはや国家予算の領域ですよ。それだけのものを赦してもらった人が、百デナリオン、つまり百万円の貸しを赦すことができなかつた。無論、百万円だって少なくはないわけですが、自分がどれほどの恵みを頂い

ているか、わたしたちは往々にして気づいていないのかもしれませんが。まあ、わかっちゃいるけど…、という感じですね。

よく考えることですが、わたしたち人間は厳密に言って、本当に人を「赦す」のは無理ではないか…、とも思ったりします。いくらいったん「赦した」と思っても、それから何年もたつてから、その人にされたことを再び思い出すと、新たな怒りがふつふつとわいてきたりします。今日のたとえでもそうですが、人間は人にしたことは、いとも簡単に忘れませんが、「された」ことは決して忘れない。たとえ行為としての復讐や仕返しなどはしなくても、「気持ち」を変えることはそう簡単ではありません。そう考えると、もし、わたしたちが人を「赦す」ことができるとしたなら、それを可能にできるのは神さまだけです。そうであるならば、わたしたちに必要なのは「赦させてください」と神さまにお願いすることなのかもしれません。でも、そんな気持ちにさえなれない、そんな祈りさえもできないときもありますよね。わたしも以前、どうしても赦せない人がいました。赦す気もありませんでした。神さまには「わたしはあの人を赦せません。赦す気もありません。すみません。アーメン」などと祈ってました。その人が亡くなったときも、「お前、死んだからって安心するなよ。オレはお前を赦してねーからな」などと思ってました。でも、それから何十年も経ってから、その人のことを思い出したとき、「かわいそうな人だったのだな」という気持ちになって、そんな気持

ちになった自分に驚きました。そして気がつきました。わたしの中で「赦し」を実現させてくださったのは、神さまだったことを。

なかなか人を赦すことのできないわたしたちは、まずは神さまに無条件に「赦されて」いることに気づき、目を向けることが必要なのでしょう。せめて「赦させてください」と祈ることができますよう、求めていきたいと思います。



9月27日・年間第26主日：マタイ21・28-32

今日は、もともと「子どもとともにささげるミサ」の予定でしたので、説教は子ども向けにさせていただきます。

小学生の皆さん、元気ですか？いつもなら運動会とかの季節でしょうけど、今年は色々難しいでしょうね。学校の先生方も、感染症対策でご苦労なさってると思います。「教会学校だより」でも書きましたが、教会では初聖体クラスだけがスタートしました。11月21日（土）の午後に、ミサの中で初聖体を受ける友達がたくさん、そして洗礼を受ける人もいます。どうぞ、良い準備ができるよう、お祈りしてくださいね。

さて、今日の福音では、イエスさまがたとえを話されています。「ある人に2人の息子がいて、息子たちに『仕事を手伝いなさい』と言うと、お兄さんは『やだ！』と言ったけど、あとで考え直して手伝った。弟の方は『はい！』と言ったのに、サボって行かなかった。どっちがいいの？』いや、どっちもダメだろ、

と思っちゃいますね。だって言ってることとやることが違うじゃん。でも、イエスさまは、お兄さんの方がお父さんを喜ばせたよ、と言うんですね。何ででしょう？

聖書では、「人間はみんな、神さまの前では罪人だよ」と言います。日本語で「罪人」と言うと、悪いことをした人、という意味が強いけど、聖書で言う「罪」とは、神さまから心が離れちゃってることを意味します。いつも神さまのことを考えてる人なんていませんよね。じゃあ、神さまのことを考えてないとき、何を考えているのか…、「あれ欲しいな」とか「これ食べたいな」とか…、要するに自分のことを考えているんです。人間は自然といつも自分のことを考えます。だから、神さまのことを忘れがちになっちゃう。そして、だからこそ、それに気づいて神さまの方に心に向ける必要があるよ、ということです。「人間は、みんな神さまの前では罪人」とは、そういう意味です。逆に、神さまの方を向いているフリして、本当は心の中で全く違うことを考えたりしたら、神さまは悲しまれる。当たり前ですよ。

イエスさまは、このたとえを「祭司長や長老」、つまり当時の偉い人に話しています。当時の偉い人たちは「自分たちは決まりをきちんと守っている正しい人間だ」と言って、決まりを守らない、あるいは守れない人たちを「罪人」と呼んで差別していました。そんな人たちに、イエスさまは言うんです。「いやいや、みんな『罪人』なんです。だから、それに気づくこと、そして神さまに心に向けることを、神さまは喜ばれるんだよ」。

聖書の中でイエスさまは、こんなことも言っています。「いいことは、黙ってやりなさい。なぜならば、神さまがちゃんと見てくださっているから」。人のお手伝いをするときに「ほく手伝うよ！手伝うよ！手伝うよ」ってしつこく言われたら、ウザいよね。それは、本当は人のために何かをしているんじゃないから、自分がほめられたいから、いい人に見られたいから…、つまり「自分のため」になっちゃってますよね。だから、本当に人のために何かをやるなら、黙ってやりなさい、と言われるんです。

わたしたちがいつも神さまから心が離れがちに

なっちゃうことに気づいて、そのたびに神さまへと心に向け直すことができるように、一緒に祈りましょう。



(撮影：編集部 土方芳人)

祈り

礼拝会 宮下慧子



夕焼け富士とマリア像

ミカエラ寮勤務の一日のしめは夜10時の戸締りです。私は最後に洗濯場を見てそのまま屋上に出ます。ここは高台なので、遠くは淡いスカイツリー、ライトがビーズ玉のように並んでいるベイブリッジ、車が猛スピードで次々と通過していく高速道路。そして、それらを取り巻く無数の小さな明かりが見渡す限り瞬いています。その一つひとつに人々の営みがあることを思うと私は祈らずにはいられなくなるのです。遮るものない大空の下で。

今、私が立っている建物に一時保護されている女性たちと、棟続きの母子生活支援施設の23世帯の母子たちがご飯やお風呂を済ませ、満ち足りて眠りに

つけますようにと。人生航路で疲れ傷つき、礼拝会という港で一休みして再出発された方々のことも思い浮かべます。26才で事故死した青年のこと。父親の暴力で物心ついた時から傷つき、母や兄弟と逃げてきました。やんちゃで少年院の世話になり、中卒後は仕事を転々としてようやくボーナスが出る仕事につけたと報告をくれた直後の即死でした。妊娠中のかわいいパートナーを残して。日本人と結婚し散々な目に遭い、精神を病んでしまったアジア女性。入院のためにキャスター付きの椅子で玄関まで運ばれた彼女は、ぶるぶる震える両手で開いた聖書を持っていました。そばで3歳の娘がはしゃいでいました。今から母と離れて施設に行くことも知らないで…。

礼拝会は聖マリア・ミカエラにより、1856年にスペインのマドリッドで誕生しました。会のカリスマは「礼拝」と「解放」です。礼拝は、キリストの死と復活を記念するミサを軸として、聖体のうちに留まって下さっているキリストを永続礼拝することです。日中は30分ずつ、夜間は週一度2時間交代で一晩中礼拝を続けています。「解放」は売春や社会構造によって疎外されている女性の保護と自立支援です。

1928年スペインから3人のシスターが来日し、東京麹町で修道院を創立しましたが、17年後には太平洋戦争により灰燼と化しました。1945年終戦の秋、スパイ防止のため軽井沢に強制疎開させられていた外国人のシスターたちにより、白人のための避病院・伝染病院であった現在地の建物で横浜修道院が開設され、また社会的養護を必要とする少女たちの施設も開所しました。食糧難のこの時代、シスターたちは畑を耕し、豚を飼い、根岸の米軍施設から貰う残り物の食材を調理し直して施設の少女たちに食べさせ、将校たちの夫人方の求めに応じて、刺繍など手の込んだ手芸品を作り生活の糧を得ていました。また米軍で働くタイピストたちのために寮も開設しました。軍国主義から民主主義への激変により価値観が揺らいでいる若い親たちのために幼稚園を開設して宣教活動を始める一方、アメリカ兵と日本人女性の間の子どもたちのためにインターナショナルスクールも始めました。神奈川県で委託で当時パンパンと呼ばれた女性の救援事業を、あてが

われた川崎市大島町の自動車工場跡で行いました。これが非常に困難であったことや、赤線防止法の施行などで徐々に本来の事業を手放し、教育事業や社会教育的事業に移行して行きました。

1960年代の第二バチカン公会議により各修道会は創立の源泉に還ることが求められました。礼拝会でも本来の使命に戻るべく模索を重ねた結果、当時顕在化してきたドメスティック・バイオレンスの被害女性などジェンダーの視点から「女性の緊急一時保護施設ミカエラ寮」を開始しました。シェルターだけでは問題解決しない母子のために10年後には母子生活支援施設「カサ・デ・サンタマリア」を始めました。教育事業を廃止して本来の使徒職に戻るために手放した半分以上の土地が、地域の方々に愛される唐沢公園となったことは礼拝会員の喜びです。

来年3月に閉鎖するミカエラ寮だけでなく、礼拝会の使徒的事業に関わり、巣立って行かれたすべての方々と協働者に思いを馳せながら、今夜も屋上で、悩み、悲しみ、辛さを神に委ね祝福を願って賛美歌を歌います。

教会学校再開 洗礼・初聖体に向けて勉強中

新型コロナウイルスの影響で3月からお休みとなっていた教会学校が、9月、洗礼・初聖体準備クラスのみ再開しました。感染防止対策を徹底し、11月21日のミサを楽しみに勉強しています。

『神様』は指文字のK。『ありがとう』はこうです。『ね・・』。担当の中島晶子リーダーが聖歌の歌詞に合わせた手話を見せると、子どもたちや後方の保護者が動きを合わせます。感染防止のため「声の歌」が難しい中での、「手話の歌」の練習です。

再開の検討が始まったのは、小中学校などの休校措置が終わった6月。夏休み後の開始に向け、教会や幼稚園と話し合い、洗礼・初聖体準備クラスだけに限って準備を進めました。幼稚園以上に広い間隔が取れる教会ホールを使い、到着時の消毒や検温、保護者に記入してもらった体温表の確認を徹底します。感染への懸念から受講を来年度に変えた家庭もありましたが、小学校2～5年生の13人（うち受洗

5人）が勉強を進めています。

授業は、中島リーダーに加え、西村英樹助祭も行います。ご聖体をいただく意味を考える回には、アンパンマンの紙芝居を上演。おなかをすかせた旅人や子どもに、「さあ僕の顔を食べなさい」「全部食べてもいいんだよ、すぐ元気になるよ」と顔を与えるアンパンマンは、確かに、私たちのために十字架にかけられたイエス様と通じる部分がある。「人を助けるには、自分が何の痛みも負わないという訳にはいかない」という言葉に、保護者席にもうなずく姿が見られました。

秘跡を扱った回では、「一度しか経験できない秘跡」の質問に子どもたちが次々と手を挙げました。「洗礼」「堅信」は正解。では「叙階」は？ 助祭、司祭、司教になるときに受けるので、多くて3回ですね。一方、「結婚」と答えた子どもに対しては、どう答えてよいか、西村助祭が思わず早口になってしまう一場面もありました。

保護者が毎回一緒に授業を受けるのは、数年前から続く試みです。「教会学校は日曜日にしかないけれど、家庭では毎日、一緒に祈ることができる」と中島リーダー。「お母さんの初聖体のときはこうだったよ」などと話し合い、周囲が温かく祝福してくれることだということも伝わったらと願っているそうです。

子どもたちに今の気持ちを聞いてみると、「（ご聖体を）もらえるのが楽しみ」「（ミサで）みんなの前に出るのが恥ずかしい」「侍者をやりたい」「クリスマスミサでは私もパンがもらえるんだ！」など。10月4日には女子の衣装合わせもあり、白く長い服にワクワクする気持ちも高まったようです。

今は準備クラスしか「登校」できませんが、リーダーたちは、それ以外の子どもたちにも、月1回、クイズや鈴木真師への質問コーナーなどを載せた「教会学校だより」を郵送しています。年明けからは、学年別の「分散登校」の準備も進めています。

21日のミサには、子どもたちや家族ら関係者しか参加できませんが、今後、教会の中で育っていく子どもたちです。信者のみなさまも、どうぞお祈りください。



(編集部 木下こゆる)

一体15万円とします。ただし、すでに山手教会に墓地・納骨堂を使用しておられる方は一体3万円とします。また、山手教会の墓地・納骨堂からの改葬を望まれる方は一体3万円としますが、1基の墓地からの改葬の場合で五体以上の場合は一律15万円とします。山手教会の墓地と納骨堂以外からの改葬については一体15万円とします。

なお、合葬墓への埋葬は、改葬を除き、11月中の一日を合葬の日として一括して行います。

(墓地委員会 委員長 村田隆裕)

— 聖堂補修のために —

PIPE ORGAN CONCERT 2020 オルガンコンサート

第1回 11月28日(土)

14:00 開演 13:30 開場

第2回 11月29日(日)

14:00 開演 13:30 開場

カトリック山手教会 聖堂 入場料2000円

* 定員は各回65人までです

♪ オルガン 米沢陽子 ♪

合葬墓について

墓地委員会では、山手墓地内に合葬墓を建てることについて、今年初めの信徒大会で建設場所を納骨堂の前庭とすることを報告いたしました。その後の進捗状況をお知らせいたします。

その場所に合葬墓を作るための一連の手続きの最後として、周辺住民などに対する説明会が10月末から11月初めにかけて行われます。その後、質問・意見を受ける期間1カ月と役所の審査期間1カ月を経てようやく工事にかかります。現在の状況では確定的なことは分かりませんが、来年の復活祭までには完成することが期待されます。

また、合葬墓の使用規定に関して、規定とその細則の改訂を行い、横浜教区の了解もいただきました。

合葬墓の利用者は原則として山手教会の信徒の二親等以下の者とします。また、合葬墓の使用料は

2020年10月度教会委員会議事録

日時：10月4日(日) 13:00開始～16:05終了
場所：教会ホール

議事内容

- 1 開会の祈り
- 2 主な審議確認検討事案 ※順不同
 - (1)今後のミサと教会活動について
 - ・ミサ参加上限人数について⇒2m間隔を1mに変更して総数を算出し後日、共有。
 - ・ICCは現状40人設定枠をこの機会に増員予定。
 - ・外国籍教会学校の今後の活動について⇒当面はリモート、再開時は別途相談。
 - (2)福祉委員会の活動再開について
 - ・木曜パトロールへの物資提供：秋冬向け毛布、男

- 性下着、靴下などを緊急で集めるため、お知らせなどを通じて信徒に協力をお願いします。
- ・バザー中止を受けて出店予定だった福祉団体の近況を尋ねつつ、ミサ後1～2回委託販売会の開催を企画する。
 - ・フードバンクを通じて家庭に眠っている食料品を集め、中区社会福祉協議会を通して支援することを企画する。
- (3)「一日の祈りの集い」(イエズス会霊性センター「せせらぎ」)の信徒館利用申込みについて
- ・11/14(土)9:30～16:00信徒館(聖堂)。
 - ・お手伝いする山手の信徒が確保可能であれば受け入れる(山手教会新型コロナウイルス感染予防聖堂利用ガイドライン遵守のこと)。
- (4)横浜雙葉学園(アンナ会)の聖堂利用申込みについて
- ・11/5(木)10:00～12:30黙想会とミサ。
 - ・ミサ準備のため香部屋係と連携(事務所経由)。
 - ・山手教会新型コロナウイルス感染予防聖堂利用ガイドライン遵守のこと。
- (5)赤い羽根共同募金運動への協力について
- ・コロナ禍のため街頭募金に立つ人が少ない状況でもあるので募金1万円決定。
 - ・毎年同様に募金を出すことにする。
- (6)年末年始のミサについて
- ・クリスマスミサ(横浜雙葉講堂):12/24(木)20時1回(バイリンガルミサ)。12/25(金)午前中・英語1回、昼・日本語1回、すべて申込み制(所属信徒限定)。
 - ・12/31(木)大晦日ミサなし。
 - ・1/1(金)新年のミサ:主日と同じ時間帯で申込み制。
 - ・詳細は11月教会委員会にて決定。
- (7)ホームページサイト修理費(情報システム委員会)
- ・HP修理費110,000円(税込み)→99,000円(税込み)になったので支払い処理を進める。
- (8)ノートPCを情報システム委員会備品として購入したい(情報システム委員会)
- ・個人PCを毎回持参して使用していたが今後は共有備品として購入して使用する。
 - ・見積りを取って購入を検討開始する。
 - ・購入額10万円以上の備品は固定資産台帳に記載し管理対象となる。(財務委)
- (9)今後の売店運用について
- ・休業中の売店内は高湿度のため除湿対策を検討する(エアコンやファン稼働など)。
 - ・カレンダーや手帳などの季節品は予約注文形式とし、教会ホールなどで販売。
- (10)オルガンコンサートについて
- ・新型コロナウイルス感染予防ガイドライン遵守の上、実施。
 - ・パイプオルガン修繕費用チャリティーミニコンサートなどを年内に企画する。
- (11)11月6日(金)9:30～例会ミサを行いたい(ロザリオ会)
- ・当日はダリル師司式、ミサ後に簡単な例会を聖堂で実施。
- (12)今後の平日朝ミサについて
- ・当面休止(理由:スタッフ不足とコントロール不可能)。
- (13)事務所受付時間および聖堂とホール開放時間について
- ・10/5(月)から10:00～16:30に戻す。
 - ・お知らせにも掲載する。
- ### 3 活動予定および報告事項
- (1)連絡網整備について
- ・登録済み連絡先あてに近日中にテストメール配信予定(情報システム委員会)。
- (2)みこころコーナー新設時の工事不備対応について
- ・9/26付で岡山建設から課題認識と改善策提案レター到着。
 - ・9/26の三役+財務+総務打ち合わせにて内容確認し承認。
 - ・先方に了解の旨回答し、10/8(木)頃から修繕工事開始予定(当方に費用負担なし)。
 - ・工事終了の頃を目途に覚え書きを交わすかどうかを検討。
- (3)新印刷会社との業務委託契約書について報告
- ・契約締結済み。
 - ・印刷新見積もり(参考):6ページ31,900円、4ページ30,800円。
- (4)合葬墓の進捗と例年行っている各墓地での司祭によるお祈りについて
- ・墓地での祈り:司祭と墓地委員のみの参加にて11/13(金)10時相沢墓地、11時山手墓地で行う⇒今週のお知らせ、ホームページにて告知。
 - ・合葬墓建設の進捗状況
建設位置の確定作業
- ①地目変更
- 2020年2月9日の信徒大会で報告したとおり、建

設場所は納骨堂の前庭の部分と確定したが、その場所に合葬墓を作るためには、建設位置を横浜市条例に基づき、墓地として認定される必要があり、そのための一連の手続きを行っている。

②合葬墓のデザイン

納骨堂の手前に設置する合葬墓のデザインについては教区長の梅村司教様の認可をいただき、同時に、横浜市により墓地の認定を受けるための作業（周辺住民説明会）を行いながら建設業者の選定を行う段階にある。

③合葬墓建設の住民説明

横浜市の条例により合葬墓建設位置の周辺110m以内の土地家屋保有者、住民及び事業を営む者に対する説明会を開かなければならないとされているので、9月末までに説明会開催の通知書を発送した。説明会は参加者の便を考慮して、10月30日、31日、11月1日、2日の特定時間に当教会にて実施する。

説明会開催後30日間は意見聴取の期間とし、その期間が明けた後に横浜市の墓地認定（許可）をもって建設工事着工となる。

④管理規定の改訂

合葬墓の建設と運用にあたり、墓地管理規定の改訂を行う。これについては教区事務所の認可が必要であり、現在折衝中。10月の墓地委員会で確定予定。

(5)①月定献金・一粒会会費の口座振り込みについて

②教会委員会規約の確認（財務委員会）

- ・口座開設にあたり、手続き書類に教会委員会規約が必要。
- ・過去の古い記録から規約を発掘したので、今後、規約改正は主任司祭＋三役＋財務で検討開始。
- ・口座開設資料が出揃ったことから事務手続きを進める。

(6)ヨゼフ会・ロザリオ会合同追悼ミサ準備報告

- ・追悼対象人数：2019年10月1日～2020年9月30日に帰天された方、22人（昨年33人）、内1人は数年前に帰天されていたことが判明した方。
- ・ご遺族への案内：10/3に案内（往復葉書）を投函済み、16日締切りで出欠返信到着見込み（出席予定者は各家庭2人以内限定）。
- ・当日準備：掲示用名簿準備済み、配布名簿は当日までに準備、生花手配、オルガン伴奏、先唱、朗読者の選定を依頼済み。

(7)結婚式費用について（事務所）

- ・20万円から結婚講座代2万円を引いた18万円をいただく。

- ・ただし、待機中の8組の方のみに適用。

(8)新型コロナウイルスによる帰天時の葬儀ガイドライン（事務所）

- ・船山博善社・澤葬儀社などの専門業者を通さず病院から専門業者に直接依頼することになる。
- ・以前は即日、火葬だったが、専門的に隔離の上、火葬場の予約が取れ次第、火葬。
- ・遺族立ち会いはできず、お骨がご遺族に戻る形。
- ・棺に思い出の品を納める場合は業者に随時確認。
- ・後日、ご遺骨をお持ちいただき葬儀に準ずる追悼ミサにてお祈り。
- ・費用は、オルガン伴奏含めて通常の告別式10万円のところ追悼ミサは2万円（税込み）。
- ・献花対応可能、その場合はご遺族による手配をお願いする。
- ・ご遺影まわりのお花もご遺族による手配をお願いする。

(9)財務委員会から

- ・来年度予算策定中
- ・大口支出見込みがあれば申請してほしい。

(10)教会委員会席上配布資料について

- ・今後は、説明資料は現行通り事務所で印刷し配布するが「審議等依頼書」は必要に応じて各自で印刷し持参する。

4 主任司祭のお話

- ・共同宣教司牧ニュース配布、内容を1.5倍に増やしたので配布協力お願いしたい。
- ・サポートチーム神奈川では年内にもう一度発行して、紙媒体に特化して発信したいので活用してほしい。
- ・11/15(日)13:30七五三の祝福と記念撮影を行う（ミサなし）、教会学校の協力をお願いします。
- ・2021年司教訪問の日程：①5/23(日) 聖霊降臨の主日に堅信式司式依頼②8/15聖母被昇天司式依頼③ICCからもリクエストがあれば検討。
- ・動画配信時の「聖体拝領中」画面についてSr川俣から、霊的聖体拝領の祈りの言葉を映し出してはどうかという提案があったので共有します。
- ・教区青少年活動：10/10(土)14時～16時「青年企画 online!」、12/20(日)14時～16時「高校生のつどいオンライン企画」、10/17(土)14時～全国青年ネットワークミーティング会議（いずれも教会ホール使用）。

以上

（総務担当 田中麻子）

2020年11月・12月主日ミサの聖歌および奉仕者予定表

	主 日	聖 歌					聖歌隊	時 間	奉 仕 者				
		ミサ曲	入祭	奉納	聖体拝領	閉祭			オルガン	先 唱	聖書朗読		詩編朗唱
11月15日	年間第33主日						前日pm5:00	藤 沼	齊藤(悠)	阿 部	福 田		
							7:30	渡 邊	末 澤	二 宮	細 谷		
							11:30	米 沢	村田(義)	梅 原	上 瀧		
22日	王であるキリスト						前日pm5:00	村 松	山本(康)	中島(晶)	志 村		
							7:30	手 塚	亀 井	東海林	古 谷		
							11:30	中 川	藤原(ま)	吉 野	龍 野		
29日	待降節第1主日						前日pm5:00	渡 邊	田中(麻)	佐藤(篤)	阿 部		
							7:30	太 田	時 久	花 田	石 井		
							11:30	米 沢	小 倉	小 松	荻 原		
12月6日	待降節第2主日						前日pm5:00	村 松	竹之内	新井田	島 田		
							7:30	中 川	石 川	島 田	石 賀		
							11:30	手 塚	佐藤(篤)	後 藤	紀國谷		
13日	待降節第3主日						前日pm5:00	藤 沼	齊藤(悠)	鈴木(明)	福 田		
							7:30	手 塚	二 宮	柳 川	神 近		
							11:30	佐 藤	遠 藤	川 田	木 原		
20日	待降節第4主日						前日pm5:00	村 松	山本(康)	中島(晶)	志 村		
							7:30	渡 邊	末 澤	二 宮	細 谷		
							11:30	中 川	村田(義)	梅 原	上 瀧		
24日 (木)	主の降誕 (夜半のミサ)						pm8:00	佐 藤	山本(康)	未 定	未 定		
25日 (金)	主の降誕 (日中のミサ)						11:30	米 沢	藤原(ま)	未 定	未 定		
27日	聖 家 族						前日pm5:00	村 松	田中(麻)	佐藤(篤)	阿 部		
							7:30	太 田	亀 井	東海林	古 谷		
							11:30	米 沢	藤原(ま)	吉 野	龍 野		

- (注) ・当分の間、ミサ中の聖歌は歌われません
 ・子どもともにささげるミサ也没有ありません。(ただし、子ども向けの説教がある場合があります)
 ・クリスマスミサは昨年同様、横浜雙葉学園講堂をお借りして行われます。(詳細は別途)

編 集 後 記

ある日、日課としているランニングで横浜港全体を見渡せる山下公園の岸壁に着くと、強風が上空から海面をなめるように向かい風となって吹き降ろしており、表面をえぐられた海水が黒い細かい波を形作ってアメーバのように自由自在に広がり、大小さまざまな形を海面に描きながら、ほうように押し寄せて来ました。あまりの迫力に、ほうぜんとして立ちすくんでいると、まもなく風が弱まり、波も同時に消えました。しかし、すぐに強風が吹き始め、再び港の至る所に黒い細かい波で独創的に描かれたアート作品が出来上がり、風とともに押し寄せて来ました。この光景を眺めているうちに、いつの間にか自分がこの情景の中に溶け込み、大自然と一体となっているのを感じました。高山が連なる北アルプスの山奥で同じように感じたことは、これまでに幾度も経験していますが、海では初めてのことでした。風が描く波紋の造形美が、これほどまでに魅力的であったとは……。 (土方芳人)

☆表紙のカット(山手教会)は、濱尾文郎枢機卿様の「えはがき」です。